

保育計画(新規事業計画)成果報告書

法人名等	社会福祉法人あゆみの会
施設名	高階すまいる保育園
報告者（役職）	萩原 康子（副園長）
住所・連絡先	埼玉県川越市諏訪町 20－10
	☎ 049-265-4885 E-mail takashinasmile@gmail.com

○タイトル（保育計画 or 新規事業計画）

子どもの「やりたい！」が溢れる保育環境

○主な助成備品

ウール・レンガ積木セット、パズル棚、汽車セット、モザイククアルテット、La Q、アヒルの家族、リモータ、キー・ハウス、はめ絵、ジルケくま（特大）、スタッキングストーン、スターコマ、ビルディングロズ等の玩具、及び、パズル棚など

1. 保育計画(新規事業計画)策定の目的

高階すまいる保育園では、子どもの心の奥底からわき出る成長の欲求を受け止め、主体的な遊びを尊重し、一人ひとりに応じた適切な援助を行い、保育の質を向上させることを目的として、今回の助成金を有効活用させていただきました。

子どもの年齢に応じた配慮を行い、豊富な玩具を使って様々な遊びを展開することで、楽しかったという思いを積み重ね、遊びの拡大性を図りました。

2. 具体的な実施内容

① 0 歳児

「見る」「触る」などの遊び環境を整え、笑顔や声を引き出し、自分のそばにはいつも期待や要求に応じてくれる保育者がいるという安心感で、子どもの心を満たしました。棚だけでなく、床面や壁面に子どもの目線に合わせた玩具を設置し、発達を促しました。

【ニックススローブミディ】

壁面に備え付け、座位でゆっくりとした動きを目で追い、触れて仕組みを確認する



【スターコマ】

保育者が回転させ自分の手で止めて異なる動きを知る



【カラームカデ】

ゆっくりと引いて歩いたり走ったりすることで活動意欲が活発になる



目の前にある遊具に興味を持ち、手を伸ばし、遊んでみて、初めて面白さがわかり、ハイハイしたり歩いたりして玩具を取りに行き、遊びの意欲を引き出しました。

② 1 歳児

「見立てやごっこ遊び」「手先を使う遊び」「構成遊び」を豊かに展開できるコーナーを増設しました。ネフスピール、リグノ、はめ絵を楽しみながら、初歩的な構成遊びや形を感覚として理解し、つまむことと手と目の協応の発達を促進しました。

【リグノ】積み方も並べ方も自分で考える



【ネフスピール】



遊びはとても日常的なもので、子どもたちの生活の中に当たり前に存在する行為ですが非常に多彩な面があります。親指と人差し指の先でつまむ母指対向操作が巧みになり、手首をコントロールする力を育て、手指の機能が発達しました。

③ 2 歳児

「ごっこ遊びで言葉を交わす」「つける、ねじる、通す」「形に合わせて操作する」「色や長さを合わせる」など、遊びの中で子どもの言葉を拾いながら、遊びが展開できる環境を整えました。

遊びは、子どもによって自発的に引き出されていく行動であり、低年齢児であってもモチベーションと達成動機を持っていることを再確認しました。難しいことに挑戦し、知らず知らずの間にできることが増えていく。そんな力が遊びにはあることを、子どもたちの言動から学びました。

【キンダーサービスなベセット・丸座卓・ジルケくまのレストラン】
「いらっしやいませ」「何にしますか」「熱いので気をつけて」など言葉のやり取りを楽しむ



【汽車セット・フィールブロックを使った街作り】
複数の玩具を組み合わせ、イメージしたものを友だちと一緒に作り上げ、「もっとこうしたい」という探求心を育む

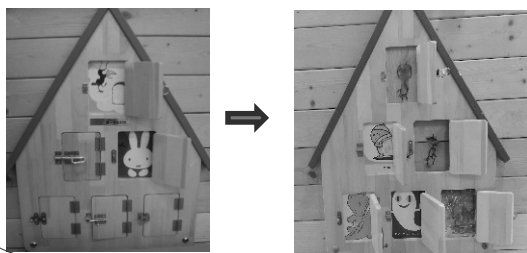


④ 3 歳児

「同じ遊びを楽しむ」「紐を巧みに操作する」「なぜ? どうしての探求」「なりきって表現する」「規則的に並べる、積む」という体験を通して、イメージを他者と共有できる空間や配置を工夫しました。

【キー・ハウス】

6 種類の鍵をどのように動かせば開くのか考え、微細運動の獲得を促し、創造性を膨らませて人物画を描いたり「お出かけしました」と空室にしたり、ストーリーを作ったりする



【CUBOROジュニア】

パーツを組み替える事により、自分の好きなようにコースを作り、ビー玉を転がし自由な形で積んだり、繋げたりして、ビー玉のルートを試行錯誤する



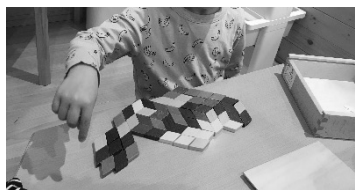
自分が持つイメージを形にすることができるようになり、気の合う友だちと一緒に意見やアイデアを出して、お互いに認めながら遊べるようになりました。他の子どもたちも「一緒にやりたい」と言葉で伝え、協力し合って遊びを共有する姿がたくさん見られるようになりました。

⑤ 4 歳児

「色や形で分類して集める」「積み方の工夫をする」など、上達することへの意欲が高まる発達段階を踏まえ、集中できる環境構成を考えました。

【モザイクカルテット】

好きな色や形を集め
自由に模様を作り
変化する世界に適応し
器用さや柔軟さが増す



【ビルディングロズ】

構成遊びの要素を存分に取り入れ、発想力や想像力を発揮し、平面から立体へと作品が大きく変化する素材がシンプルであるからこそ、子どもの発想はより膨らんでいく



積み木の性質や仕組みには、バランスが崩れることも含まれ、グラグラして崩れるまでを繰り返し、積んでは崩れるという体験を経て、積む作業の量だけ高くなることや、どのくらい必要なのかを考え、数量への理解を深めることに繋がりました。

⑥ 5 歳児

「形を意識しながら描く」「イメージしてつくる」「会話で感動を共有する」「動く仕組みや構造物をつくる」など、みんなで遊びを継続し、秩序感をもった思考と行動ができるよう、十分な量と様々な種類を用意しました。

使いたい時にいつでも自分で出してきて、机の上で使い、終わったら元の場所に戻しています。

【パズル棚】

自ら片づけの意味を見出して動けるように
片づけをする理由や必要性を理解する



【スタッキングストーン】

異年齢による遊びの工夫



【La Qの汽車】



みんなで使う道具や玩具を使って、様々な遊びを体験することで、楽しかったという思いを積み重ね、その実感が物への愛着やこだわりを育みました。

3. その成果と評価

園全体で環境整備を行ってきた結果、子どもたちはもとより、保育者もきれいにしまうことを意識するようになり、成長・変化が見られました。遊具を種類別、形別に整頓し、向きを揃えて棚に整え、遊びたい時に出して、終わったら元に戻す習慣を身につけることができました。

子どもの想像力を刺激し、子ども自身が今ある状態からさらに広げ、想像力を発揮し、新しいことを考え、心の柔軟性を広げるために、発達や興味に即した様々な種類の玩具を提供することの重要性を再確認しました。

遊びのルールが難しいと興味を示さなくなるため、子どもの年齢や状況に合わせてルールをアレンジしたり、子どもたちと一緒にルールを考えたりしながら、みんなが夢中になれるよう配慮することを全職員が習得しました。

4. 今後の課題と展望

遊びを通して「気付く力」「工夫する力」「楽しく取り組む力」という非認知能力を高め、「ありのままでいい」という自己肯定感の基盤を創ることは、概ね達成できました。

今後の展望として、全ての幼い子どもたちの健やかな育ちを願い、遊びの世界観に魅了されている時や集中している時に中断し、片付けを強いることは得作でなく、子どもたちは「片付けをしないことを選択している」と理解した上で、時間と空間の制限の少ない保育のあり方を探求し、さらなる質の向上に努めてまいります。

高額な助成をいただけたことにより、一度にたくさんの玩具を揃え、望ましい保育環境を構成することができました。感謝の気持ちを忘れず、大切に使用させていただきます。

以上